

第19回飯田市地域史研究集会

満洲移民

— 下伊那から再考する

2022

9/10 - 9/11

■会場

飯田市役所 C 棟 3 階会議室

■資料代 500円 (2日間共通)

・会場定員あり (先着50名)

・オンライン参加も可

(下記QRコードの専用サイトからお申込みいただけます)

※事前申込制 (電話 / Fax / メール)

※申込締切: 会場は 9月8日 (木)、
オンラインは 8月31日 (水) まで

※高校生以下は無料



■主催 飯田市・飯田市教育委員会

■関連展示 飯田市立中央・県・上郷図書館にて実施

(写真出典: 筒井茂實氏提供写真 / 飯田市歴史研究所所蔵)

戦時期の国策の下、全国でおよそ三〇万人が農業移民や青少年義勇軍として満洲 (中国東北部) へ向かいました。飯田下伊那からも八千人余りが海を渡りました。しかし、敗戦後の混乱の中で多くの命が失われ、帰国できた人びともさらに苦難が続きました。

今回の研究集会では、最新の研究成果により、世界やアジア、日本にとって満洲移民とは何であったのかを問い、加害と被害の歴史に向きあい、記憶を継承する意味を考えます。

■プログラム (詳細は裏面)

9月10日 (土) 10:00 - 17:00

[第一部 満洲移民を再考する]

講演: 加藤 陽子 (東京大学) / 本島 和人 (飯田市歴史研究所)

報告: 齊藤 俊江 (飯田市歴史研究所)

9月11日 (日) 9:00 - 15:00

[自由論題報告]

竹村 雄次 (飯田市歴史研究所) / 塩澤 元広 (高森町歴史民俗資料館)

[第二部 満洲移民と向きあう]

報告: 橋本 珠子 (満洲移民体験者) / 手塚 孝典 (信越放送)

三沢 亜紀 (満蒙開拓平和記念館)

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更が生じる場合があります。



飯田市歴史研究所

〒395-0803 長野県飯田市鼎下山538

TEL 0265-53-4670 FAX 0265-21-1173 E-mail iih@city.iida.nagano.jp

第19回飯田市地域史研究集会

満洲移民 ― 下伊那から再考する

九月一〇日〔土〕一〇時〜一七時

〈第一部 満洲移民を再考する〉

講演 近代日本の戦争 ― 森本州平日記から考える ― 加藤 陽子(東京大学)

講演 日中戦争下の募集と送出 ― 地域指導者と下伊那の人びと ― 本島 和人(飯田市歴史研究所)

報告 下伊那の中の満洲 ― 原資料を読み解く ― 齊藤 俊江(飯田市歴史研究所)

質疑応答、意見交換



河野村勤勞奉仕隊〔昭和19年〕(原愛子氏寄贈写真)



飯田駅から満洲に出発する人々〔昭和14年〕(熊谷元一氏撮影、阿智村所蔵)

九月二一日〔日〕九時〜一五時

〈自由論題報告〉

報告 明治三〇年代の飯田町文化の高まり ― 歌舞伎座新史料を中心に ― 竹村 雄次(飯田市歴史研究所)

報告 江戸時代後期の伊那地方における離縁と女性 ― 塩澤 元広(高森町歴史民俗資料館)

〈第二部 満洲移民と向きあう〉

報告 満洲体験が人生の指針に ― 看護師として生きる ― 橋本 珠子(満洲移民体験者)

報告 沈黙を聴く ― ドキュメンタリーの現場から ― 手塚 孝典(信越放送)

報告 想起と対話の「場」 ― 記念館レポート ― 三沢 亜紀(満蒙開拓平和記念館)

質疑応答、意見交換

■ アクセス

高速バス	各バス会社にて予約	
(東京から)	バス新宿 → 飯田駅前	4 時間
(名古屋から)	名鉄バスセンター → 飯田駅前	2 時間
自家用車	中央自動車道	
(東京から)	八王子 IC → 飯田 IC	3 時間 30 分
(名古屋から)	名古屋 IC → 小牧 JCT → 飯田 IC	1 時間 30 分
鉄道	JR 飯田線	
(豊橋から)	特急伊那路	2 時間 30 分
(辰野から)		2 時間
会場へのアクセス	飯田駅 → 徒歩 15 分	
	飯田 IC → 車で 15 分	

■ 会場周辺図

